

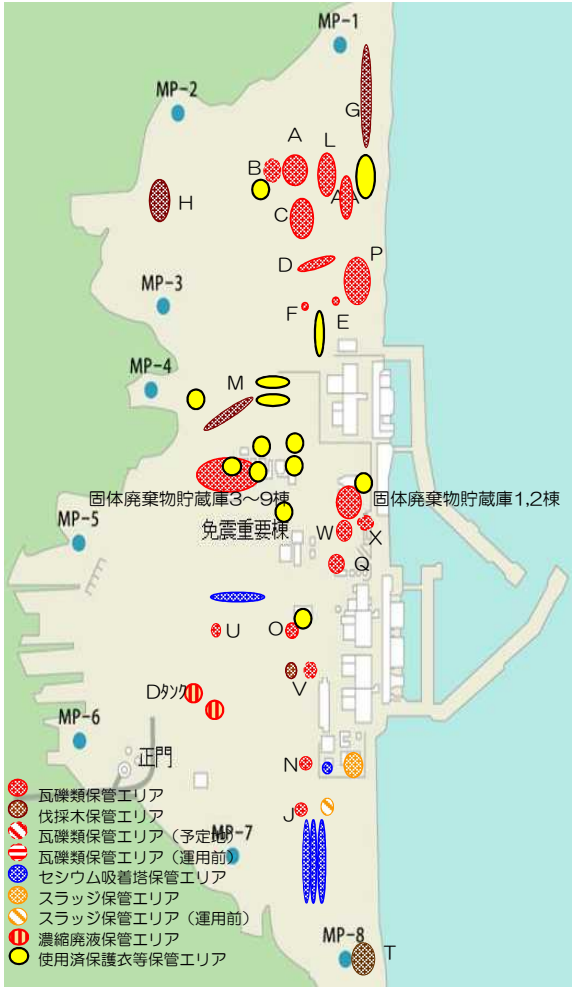
瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.9.30時点)

分類		保管場所	保管方法	エリア境界 空間線量率 (mSv/h)	保管量		前回集約からの増減※1 (2020.8.31 - 2020.9.30)		変動※2 理由	エリア 占有率	保管量※3／保管容量 (割合)	トピックス
瓦礫類	屋外集積 (0.1mSv/h以下)	A	屋外集積	0.25	300	m ³	0	m ³	—	0 %	219500 / 270200 (81%)	・フランジタンク解体片 2020年9月末時点でコンテナ1,074基保管。 エリアP1 コンテナ数：627基 (2015年6月15日～) エリアAAコンテナ数：447基 (2018年3月15日～) ・エリアAは1～30mSv/hの瓦礫類を仮設集積中。これら瓦礫類を固 体庫に移動後、低線量率瓦礫類一時保管エリアとして使用予定。 ・エリアCのエリア整理により、保管容量 (3,700m ³) 増加。 (2020年7月)
		B	屋外集積	0.01	5,300	m ³	+100	m ³	⑤	99 %		
		C	屋外集積	0.01未満	65,700	m ³	+1,500	m ³	①②⑤	98 %		
		F 2	屋外集積	0.01未満	6,400	m ³	0	m ³	—	85 %		
		J	屋外集積	0.01	6,200	m ³	0	m ³	—	78 %		
		N	屋外集積	0.01未満	9,600	m ³	0	m ³	—	96 %		
		O	屋外集積	0.01未満	44,000	m ³	0	m ³	—	86 %		
		P 1	屋外集積	0.01未満	60,200	m ³	+1,300	m ³	①②④	94 %		
		U	屋外集積	0.01未満	700	m ³	0	m ³	—	100 %		
		V	屋外集積	0.01	6,000	m ³	0	m ³	—	100 %		
	AA	屋外集積	0.01未満	15,000	m ³	+300	m ³	⑥	41 %			
	シート養生 (0.1～1mSv/h)	D	シート養生	0.01未満	2,600	m ³	0	m ³	—	58 %	42900 / 71000 (60%)	
		E 1	シート養生	0.02	14,400	m ³	微増	m ³	①	90 %		
		P 2	シート養生	0.01	5,800	m ³	0	m ³	—	64 %		
		W	シート養生	0.03	12,200	m ³	微増	m ³	①⑪	42 %		
		X	シート養生	0.01	7,900	m ³	0	m ³	—	65 %		
	覆土式一時保管施設、 容器 (1～ 30mSv/h)	L	覆土式一時保管施設	0.01未満	16,000	m ³	0	m ³	—	100 %	17900 / 24600 (73%)	・主な瓦礫類は、1～4号機工事等で発生した瓦礫類。 ・エリアAの運用変更により、保管容量 (7,100m ³) 減。 (2020年1月)
		E 2	容器※4	0.01未満	1,200	m ³	0	m ³	—	68 %		
		F 1	容器	0.01未満	600	m ³	0	m ³	—	99 %		
		Q	容器	0.04	0	m ³	0	m ³	—	0 %		
	固体廃棄物貯蔵庫	固体廃棄物 貯蔵庫	容器※4	0.01	22,800	m ³	+200	m ³	①⑤	48 %	22800 / 48000 (48%)	・主な瓦礫類は、1～4号機工事等で発生した瓦礫類。
合計 (ガレキ)					303,200	m ³	+3,400	m ³	—	73 %		
伐採木	屋外集積 (幹・根・枝・葉)	G	屋外集積	0.01未満	25,300	m ³	0	m ³	—	63 %	97100 / 134000 (72%)	
		H	屋外集積	0.01未満	31,700	m ³	0	m ³	—	74 %		
		M	屋外集積	0.01未満	39,600	m ³	0	m ³	—	88 %		
		V	屋外集積	0.01	400	m ³	微増	m ³	⑦	7 %		
	一時保管槽 (枝・葉)	G	伐採木一時保管槽	0.01未満	26,200	m ³	0	m ³	—	88 %	37300 / 41600 (90%)	
		T	伐採木一時保管槽	0.01未満	11,100	m ³	0	m ³	—	94 %		
合計 (伐採木)					134,400	m ³	微増	m ³	—	77 %		
保護衣	屋外集積	容器	0.02	29,700	m ³	-2,500	m ³	⑫	44 %	29700 / 68300 (43%)	・使用済保護衣等焼却量 8,823t (2020年9月末累積) ・焼却灰(プラスチック含む)のドラム缶数 2,186本 (2020年9月末累 積)	
合計 (使用済保護衣等)					29,700	m ³	-2,500	m ³	—	44 %		

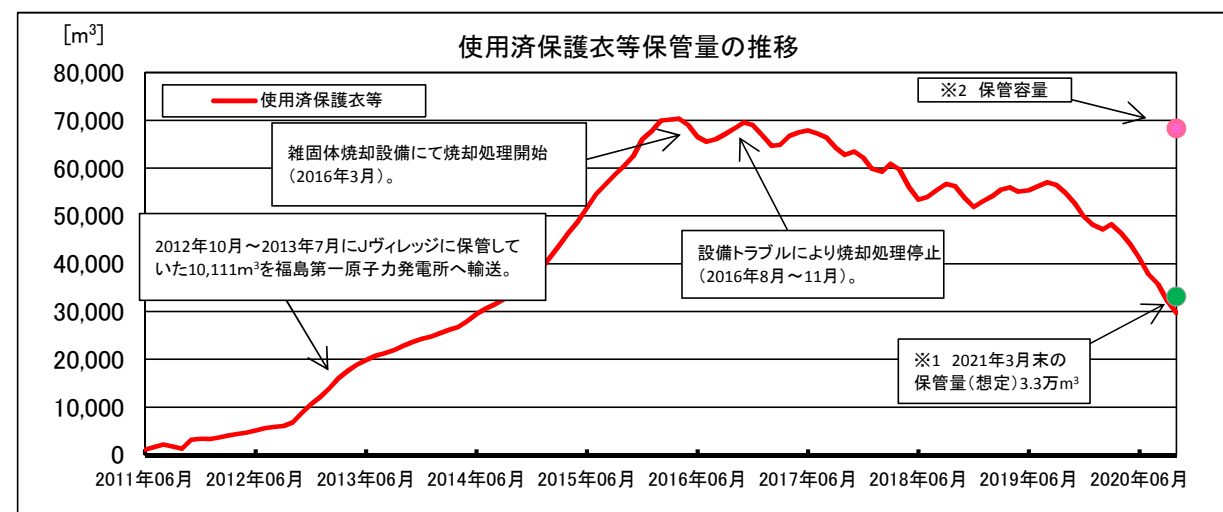
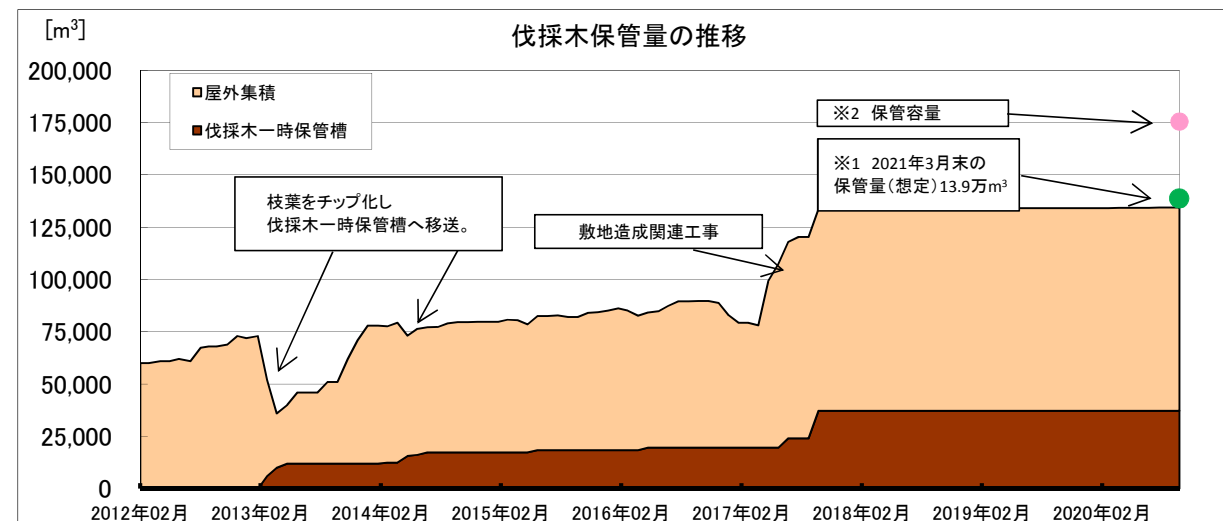
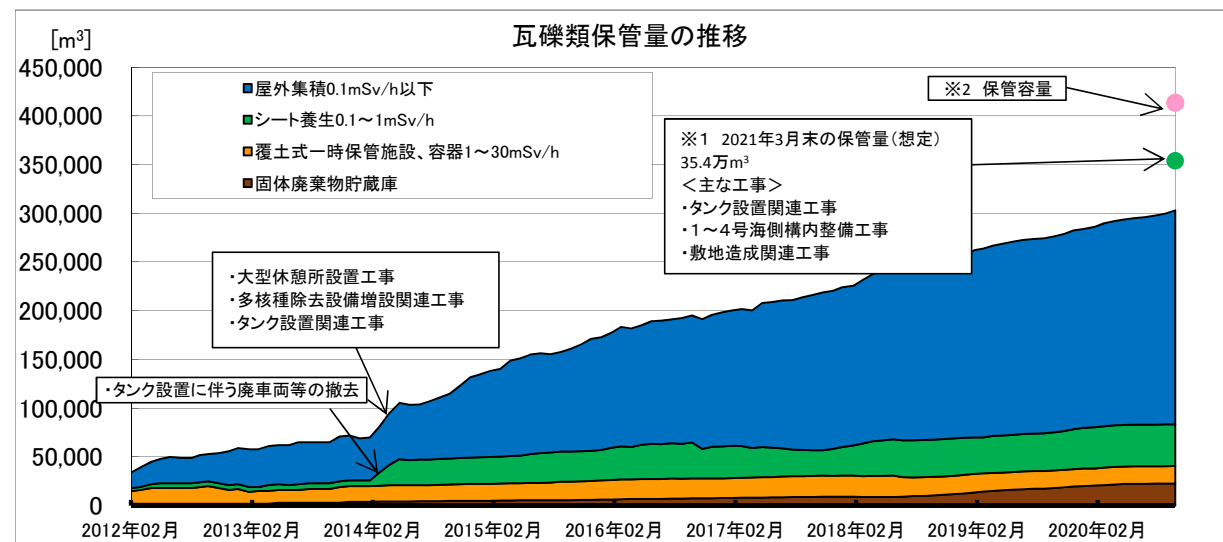
※1 100m³未満を端数処理しており、微増・微減とは50m³未満の増減を示す。
※2 主な変動理由：①1～4号機建屋周辺関連工事 ②タンク関連工事 ③敷地造成関連工事 ④構内一般廃棄物 ⑤エリア整理のための移動
⑥フランジタンク除染作業 ⑦伐採木受入 ⑧港湾関連工事 ⑨水処理設備関連工事 ⑩碎石取り出し ⑪5,6号機建屋周辺関連工事 ⑫焼却運転
※3 端数処理で100m³未満を四捨五入しているため、合計値が合わないことがある。
※4 水処理二次廃棄物(小型フィルタ等)を含む。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.10.1時点)

分類	保管場所	種類		保管量	前回集約からの増減 (2020.9.3 - 2020.10.1)		保管量／保管容量 (割合)	トピックス
水処理二次 廃棄物	使用済吸着塔 保管施設	セシウム吸着装置使用済ベッセル		779 本	0 本		4934 / 6372 (77%)	
		第二セシウム吸着装置使用済ベッセル		238 本	+4 本			
		第三セシウム吸着装置使用済ベッセル		2 本	0 本			
		多核種除去設備等保管容器	既設	1,827 基	+12 基			
			増設	1,783 基	+9 基			
		高性能多核種除去設備使用済ベッセル	高性能	74 本	0 本			
		多核種除去設備処理カラム	既設	17 塔	0 塔			
	廃スラッジ 貯蔵施設	モバイル式処理装置等使用済ベッセル及びフィルタ類		214 本	0 本		422 / 700 (60%)	・滞留水処理に伴う除染装置の運転計画は無く運転によって新たに廃棄物が増える見込みは無い。 ・準備が整い次第、除染装置の廃止について実施計画の変更申請を行う。 ・プロセス建屋の除染作業に伴い廃スラッジ貯蔵施設の水位が上昇。
		廃スラッジ		422 m ³	+1 m ³			
	濃縮廃液タンク	濃縮廃液		9,379 m ³	-23 m ³		9379 / 10300 (91%)	・タンク水位の変動は、計器精度±1%の誤差範囲内。(現場パトロール異常なし) ・水位計0%以上の保管量：9,279 [m] タンク底部～水位計の保管量(DS)：約100[m]



瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の管理状況(2020.9.30時点)



※1 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管量(想定)は、実施計画(2020年7月14日認可)の予測値を示す。
 ※2 瓦礫類・伐採木・使用済保護衣等の保管容量は、運用上の上限を示す。

水処理二次廃棄物の管理状況(2020.10.1時点)

